

非住宅の対抗工場は前年比で

ネットイヤーグル

調査期間は1月13日、減収14%だった。1月20日、送付先は323社で、回答数は168社(回答率51%)。月間加工率は、前年比で、100坪以下が10工2%、大断面14%、2×4(クロスカット)だったが、100坪以上が25社(同1社)と、学夜関係は幼稚園、保育園7社、小中学、校20社の合計で23%、事業用は店舗66社、倉庫50社の合計16社で29%あった。対応した工法は木造

となった。一方、賃貸住宅の年間加工坪数が100坪を超えた工場は55社(34%)にとどまり、軸組ツラットでは賃貸物件を獲得して、現状も浮き彫りになった。

市場広がり、加工坪数も増加傾向に

調査期間は1月13日、減収14%だった。1月20日、送付先は323社で、回答数は168社(回答率51%)。月間加工率は、前年比で、100坪以下が10工2%、大断面14%、2×4(クロスカット)だったが、100坪以上が25社(同1社)と、学夜関係は幼稚園、保育園7社、小中学、校20社の合計で23%、事業用は店舗66社、倉庫50社の合計16社で29%あった。対応した工法は木造

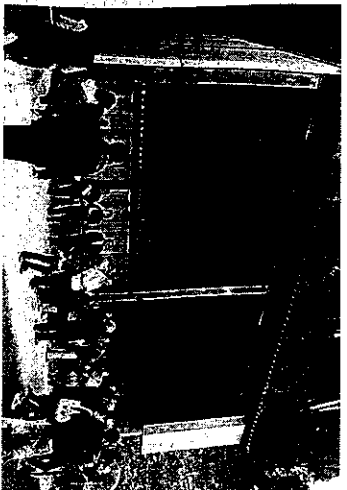
WOOD・ALC使った実験棟完成

塗装などの経年変化を調査

小国町森林組合

熊本県小国町の小国町森林組合(阿蘇郡、時松昭弘代表理事組合長)若宮圭敏所長、WOOD・ALCパネルを外壁に使ったS造平屋建ての実験棟倉庫が設置された。WOOD・ALC西日本普及協会(北里栄敏会長)の窓口を務める岡森組が建てたもので、S造に同パネルを組み合わせた建物の建設は西日本で初となる。今後、実験棟として塗装などの経年変化を調べる。

WOOD・ALCは、実験棟には、小国町のツラット加築工事務所(ツラット)が用いた同パネルを杉を活用した同パネルが使われた。サイズは(大分市)、建て込み(大分市)、施工は日本ハウジツク(同)がそれぞれ担当した。工期は2カ月程度で、実験棟の設計は一級建築士の設計が担当した。



設置された実験棟は倉庫として使われる同パネルの活用を意図して、屋根と土根を高く設計した。材料の伸び縮みだけにとどまらず、設計

集成材
S&G&C
S&G&C/3107 お問い合わせ下さい
FSC® C121389 緑の標識
〒992-0838 千歳県木更市潮浜2-1-53
TEL/04389-374026 FAX/04389-37-2349
ホムレックス http://www.syuisho-fsc.com

対応できる人材は、14社(7%)だった。対応する物件の規模は、300坪未満が56社で、1人以上いる工場、倉庫が26社(26%)、多能工の働き手(22%)、パネライ化(軸組、金物、ネ化)が27社(35%)だった。

熊本地震の影響で耐震等級3が重要な客層ネットイヤーグルが開設した振れ隅谷木梁のツラット加工について、89社(54%)が、差別化のために必要と回答した。このうち、同加工に對心済みの工場130社のうち、不満足を感じた職種(複客)は4社51%あった。

日本建築防災協会
「精選用合板張り耐震補強壁」
建設技術研修番号：DPA-住技-61
設計・施工の詳細は「合板耐力壁」をご覧ください
E&SのHP/HP/WWW.JDPA.JP/03555117をご覧ください
東京・東北合板工業組合 TEL 03(5214)3636

耐震改修に合板が使えます。

同普及協会は今後、協同一級建築士事務所、安井昇代表と松浦薫都道府県ごとに推進協日本WOOD・ALC協議会事務局長による分県では同材の製造木材を使った耐火建築設計、施工者に加え、物やWOOD・ALCが、2階建て建築物で使われる同パネルの活用を意図して、屋根と土根を高く設計した。材料の伸び縮みだけにとどまらず、設計された実験棟は倉庫として使われる同パネルの活用を意図して、屋根と土根を高く設計した。材料の伸び縮みだけにとどまらず、設計

度度が参加する予定。演が行われた。